

福岡次世代社会システム 創出推進拠点

社会ニーズ主導型開発による新成長産業の発展促進

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…福岡先端システムLSI開発拠点推進会議 ほか
 学…九州大学、九州工業大学、
 北九州市立大学、福岡大学、早稲田大学、
 九州先端科学技術研究所 ほか
 官…福岡県、北九州市、福岡市 ほか
 金…日本政策投資銀行、
 日本政策金融公庫 ほか

地域イノベーション戦略

本地域では、これまでに育成してきた先端半導体をはじめとする新成長産業の国際競争力をさらに高め、世界トップクラスのイノベーション拠点「福岡次世代社会システム創出推進拠点」の形成を図ります。そのために、高度情報社会、健康・長寿社会等の世界が直面している課題に対応し、課題解決を目的とした多様な次世代社会システムの開発を積極的に実施し、「社会ニーズ主導型研究開発モデル」の確立に取り組むとともに開発成果の国際標準化を強力に進めます。



プロジェクトディレクター 大津留 榮佐久

略歴：日本TI、ソニーセミコンダクタ九州、九州大学特任教授等を経て現職。その間、主に半導体技術経営や事業開発等に携わる。

知的クラスター創成事業の取組等により開発成果の実用化や人材育成、開発環境の充実化が進み、福岡に国際的なイノベーション拠点として発展していくために必要な基盤が定着しました。本プログラムにより、異分野融合と社会ニーズ主導型開発モデルの確立を通じて世界が直面している課題に迅速に対応し、アジアをリードする世界トップクラスのイノベーション拠点の形成を目指していきます。

事業の内容

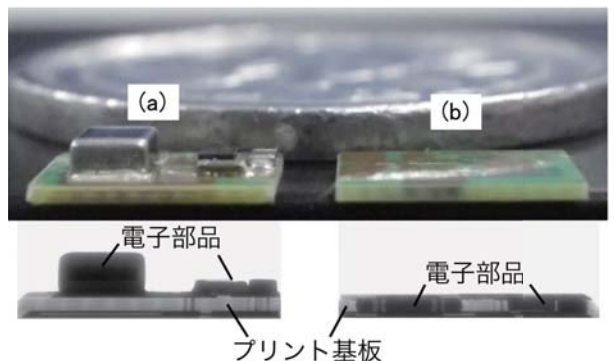
【全体計画及び成果】

高度情報化社会、低炭素社会、健康・長寿社会等の世界が直面している課題に対し、イノベーションを連続的に創出するために、「社会ニーズ主導型開発モデル」の確立・実践、世界トップクラスのイノベーション拠点の形成、半導体を応用した社会システム創出技術の開発に資する「研究者の集積」「人材育成」「知のネットワークの構築」及び「研究設備の共用化」等を実施し、課題解決を目的とした多様な次世代社会システムを開発します。本プログラムをコアとして関係府省や自治体の施策等を総動員し、イノベーション拠点形成に向けた研究開発を加速、実用化を促進し、イノベーションモデルの構築を実践しています。

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
(実施機関：九州大学ほか)
将来社会において必要となる、課題解決型の研究開発に取り組んでいます。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：福岡県産業・科学技術振興財団)
実装技術に関する人材育成プログラムを開発・実施しています。
3. 大学等の知のネットワークの構築
(実施機関：福岡県産業・科学技術振興財団)
シーズとニーズをマッチングし、新規プロジェクトをコーディネートしています。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化
(実施機関：福岡県産業・科学技術振興財団)
三次元実装に関する機器の開放・支援をしています。

国内外社会ニーズに基づく社会ニーズ主導型開発モデルの構築



(b) 支援メニュー4の三次元実装機器で開発した世界最薄の電源モジュール (プリント基板内に電子部品を埋め込んだ電源部品)
 (a) は従来品：プリント基板の表面に電子部品を搭載